

富山市総合計画前期基本計画（案）
市民説明会概要

場 所 大沢野生涯学習センター
日 時 平成18年11月12日（日）
午後2時～午後3時30分

1 開 会

2 部会長挨拶

長尾活力部会長あいさつ

合併により誕生した新しい富山市の初めての総合計画を策定している。

時代の背景は、IT化の進展、循環型社会への転換、人口減少時代の到来などにより拡大基調から縮小基調へと変化している。

本日は、市民の皆さんから活発な意見をいただき、今後の基本計画の審議に活かしたいと考えているのでよろしく申し上げます。

3 説 明

前期基本計画（案）について説明

4 質疑応答

（市 民） 公共交通の利便性を高めることについて、バスの運賃が高すぎて利用する気になれない。1企業が独占的に営業しているからでないか。コミュニティバスの運行により競争の原理が働き、運賃を下げるような対応はできないか。また、おでかけバスの利便性を高めるため、対象時間を延長し、さらに市民病院前バス停での乗降も対象にできないか。

（事務局） おでかけバス事業については、中心市街地に人を集めることを目的として、周辺地域と市中心部を結ぶバスの乗客が少ない時間帯に着目し、バス運行会社と協議・交渉し合意できた範囲で実施している。

民営バスと同一路線へのコミュニティバスの運行については、民間は会社経営が成り立つよう採算を考慮した運賃が設定されており、税金にて運行しているコミュニティバスは性質が違う。民間と同一路線でコミュニティバスを運行することは、民営を圧迫するのでふさわしくないと考えている。

（市 民） らいちょうバレースキー場について、赤字経営が続くスキー場をなぜ県から引き継いだのか。今後、スキー人口の増加も考えられなく理解できない。

- (事務局) スキー場への入込み客で生活が成り立っている地元業者の状況や、市としての冬のスポーツ振興の観点から10年間は継続することとし、引き受けた。経営が成り立つよう努力したい。
- (市民) 成果重視のまちづくりで、選択と集中が必要であり、行政サービスの提供でどのような効果があったかを重視するとしているが、その前にサービスを提供する公共施設の配置をもう少しシビアに行う必要があるのではないかと。
- (市民) 富山検定を実施してはどうか。
富山大空襲について触れるべきでないか。
例えば、フィーダーバスなどの意味が判りにくいカタカナはなるべく日本語にすべきである。
- (事務局) わかりにくい言葉の意味は用語説明で対応したい。
- (市民) 市の広報について、なぜ月2回発行するのか。町内の配布を担当する人の負担が大きいため、発行を月1回にしてほしい。
- (部会長) これをもって説明会を終了しますが、本日の発言以外に意見があれば、事務局に提出してください。

5 閉 会

参集した市民 約30名